

第14回大東市庁舎整備に関する推進本部会議 議事要旨

日時：令和3年6月25日（金）午後4時40分～5時20分

場所：委員会室

出席：野田副市長、水野教育長、松本上下水道事業管理者、
田中理事兼総務部長、品川理事兼議会事務局長
中村危機管理監、東政策推進部長、木村市民生活部長、
奥野人権政策監、青木福祉・子ども部長、北本保健医療部長、
今出都市整備部長、北田産業・文化部長、延田上下水道局長、
北田教育総務部長、伊東学校教育政策部長、
辻本選挙管理委員会・公平委員会・監査委員事務局長
（事務局）
清水総括次長、川口行政サービス向上室長、
田中行政サービス向上室課長、川崎

【次第】

次第1 大東市庁舎整備基本構想（案）について

≪資料に沿って説明。以下、質疑応答≫

（副市長）

前回の5月18日の会議で、早期実現性、将来性、経済性の観点から、4つの整備パターンのうち、現所在地での耐震プラス増築の案を、推進本部会議としての方向性を確認したところ。それに基づき、事務局で基本構想（案）を作成し、今後市民に意見を聞いていくこととなるが、構想（案）について、今の段階で特に気になる表現や表記等あれば、意見をお願いします。

（保健医療部長）

P53の事業手法についてだが、前回の計画ではPFI手法を採用し、それを理由に反対する議員もおられたため、危惧している。

（事務局）

今回の構想においては、手法を確定しているわけではなく、一般的な手法を列挙している程度であり、今後、庁内で議論を進めながら、決定していく。特別委員会において

も、手法について決定しているかと質問されたが、今後最適な手法を検討すると説明している。

(副市長)

本市においては、公民連携に関する条例があり、「まちづくりに関する事業について、公民連携の可能性を検討し、できる限り公民連携事業として実施しなければならない」とあるが、庁舎はどのように考えていくのか？

(事務局)

公民連携は市の方針であり、庁舎についても然りであり、議論はしていきたいと考えている。ただし、庁舎整備事業の特性、連携の態様、立地などの条件により、公民連携による事業が可能かどうかは検討が必要と考える。

(副市長)

私たちは、条例もあり、公民連携で事業を検討することを理解しているが、市民の方からすると、いきなり公民連携が出てくると、ハレーションを起こさないか？

(政策推進部長)

公民連携を推進していく立場ではあるが、庁舎整備については、過去の経過等も踏まえながら今後も慎重に説明はしていきたい。構想では、各手法の紹介に留めているため問題ないと考えている。

(市民生活部長)

P39、40に配置やゾーニングのイメージがあるが、渡り廊下は2階でよいのか？背の高い車両も通る可能性もあることから、高さは確保した方がいいので3階の方が良いのではないかともしまだ決定していないなら、表現の工夫をしたらどうか。

また、階段の位置やエレベーターの増設は可能なのか？

(事務局)

委託している構造の専門家からは、階段の位置変更やエレベーターの増設も可能と聞いている。柱や梁などの躯体以外はほぼ一新できるとのこと。渡り廊下の階層については、あくまでもイメージ図であり、2階で確定ではない。構想での表記については、修正を行う。

(副市長)

渡り廊下の話では、あって当たり前という議論となっているが、極端に言えば、渡り

廊下を設置しないということも考えられないか。

(都市整備部長)

渡り廊下は、分棟構成であれば利便性を考慮し、今の段階では設置の方向で考えてはどうか。

(人権政策監)

新たな土地の購入はしないとの方針であったと思うが、全く購入しないということか？

(事務局)

P28には、事業費を最小限に留めるため、「新たな用地購入を前提とせず、必要が生じた場合は最低限の取得を検討する」としている。全く購入しないということではなく、今後、市民の利便性が向上するということであるならば可能性としてはある。

(副市長)

積極的には購入しないということである。

(人権政策監)

市民のアクセス性や利便性が格段に向上するのであれば、購入の可能性も考えてもよいかと思う。

(教育長)

場所と形がイメージできたので、より具体的な意見が出てきたと思う。渡り廊下に関しては、庁舎の議論のこれまでの経緯もあるし、市民への見え方も大切であると思う。階段の位置まで変更できるのであれば、長寿命化とはいえ、かなり中身も変えることができる。それであるなら、分かれている建物ではなく渡り廊下でつなぎ、ほぼ新築と見えるようなイメージの方がよいのではないか。

現状規模の積算には、教育委員会、危機管理部局が含まれているが、整備後の庁舎に含まれるという前提の議論と解してよいか？

(事務局)

教育委員会、危機管理については集約する想定をしている。

(上下水道事業管理者)

水道局も最初は渡り廊下を設置しない方向であったが、結果設置した。雨の日など、

やはり便利である。あった方が良くと思う。

(理事兼総務部長)

P50の「現状の課題」において、「来庁者の利便性の低下」とあるが、後段の「取組方策」に対応が触れられていない。

(事務局)

記述について再考する。

(副市長)

この基本構想は、どのタイミングで「経営会議」に案件としてあげていくのか？

(事務局)

9月議会に、基本構想を議決案件とし、上程する予定である。そのため、8月前半には、経営会議を開催し、政策決定をしていきたいと考えている。

(副市長)

他に何もなければ、本日の会議はこれで終了する。